

平成21年度に実施した 行政改革の主な取り組み

～市民満足度の向上を目指して～

市では、社会経済情勢の変化に即応できる簡素で効率的な行財政運営の確立と、さらなる市民サービスの向上に向けて、各種事務事業の見直しによる歳出の抑制や、新たな施策の展開などの行政改革に取り組んでいます。

ここでは、平成21年度の主な行政改革の取り組みについてお知らせします。

市民との協働による 円滑な行政運営の推進

市民と行政の協働をより推進し進めるべく、積極的な行政情報の公開と市政への参加機会の拡充に努めます。

開かれた市政の 推進と市民参加の促進

○第5次行田市総合振興計画の策定にあたり、住民基本台帳から無作為に抽出した市民の皆さんによる会議「ぎょうだ夢づくり会議」を開催。新たな会議手法により、これまで行政に声を届ける機会の少なかった方々からも貴重な意見をいただきました。

○市民自らが企画・運営を行う「行田市民大学」を開校。受講生は、市の活性化につながる課題などについて、熱心に研究しました。



行田市民大学での研究発表のようす

○日常生活において支援を必要としている高齢者などに対してサポートを行う

「行田市いきいき・元気サポーター制度」を発足。誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、活動を開始しました。

○市制施行60周年の節目の年に、市民提案による記念事業を各団体の運営により実施。多くの市民の参加をいただくとともに、市を広くPRしていただきました。



市民提案記念事業として行われたキタミソウPR大作戦

○「市民公益活動促進のための基本方針実施計画」に基づき、市民公益活動フォーラムをはじめ、市内の公益活動を促進・支援するための各種施策を実施しました。